

株主・投資家の皆様へ

100th
ANNIVERSARY
since 1922

yokowo

第84期 中間株主通信

2021.4.1～9.30

株式会社 **ヨコオ**

(証券コード：6800)

株主の皆様へ

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社をとりまく経営環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大・収束の波が繰り返される中で、世界中の人々の行動・活動が制限されるなど様々な変化をもたらしており、依然として先行き不透明かつ不確実な状況となっております。

このような環境下において、当社主要市場である自動車／半導体検査／携帯通信端末市場は、足元では世界的な半導体不足の影響などを受けているものの、CASE^(※1)／MaaS^(※2)／5G／IoT普及／AI(人工知能)活用拡大など先進的なアプリケーションが目白押しな状況には変わりありません。

このような状況の中、第84期(2022年3月期)第2四半期連結累計期間(上期)の当社グループの業績は、上期として過去最高の売上高309億6千9百万円(前期比+14.2%)となりました。一方利益面では、営業利益が20億3百万円(前期比△2.3%)と若干の減益となりましたが、経常利益は円安による為替差益を計上したことなどにより22億2百万円(前期比+28.3%)、親会社株主に帰属する四半期純

利益についても経常増益などにより15億2千6百万円(前期比+20.0%)と、いずれも増益となりました。

通期の業績予想については、車載通信機器及び無線通信機器セグメントのファインコネクタ事業における顧客の減産影響などを踏まえて営業利益以下を下方修正いたしました。回路検査用コネクタセグメントの受注見通しが極めて良好なことなどから、中間配当は当初予想どおり1株当たり18円と決定し、期末配当予想も18円に据え置いております。

当下期以降は、「新中期経営計画」の最終年度である第85期(2023年3月期)に向けて企業・事業基盤強化をさらに進めるとともに、車載通信機器セグメントでは事業構造革新と収益体制再建、回路検査用コネクタ及び無線通信機器セグメントではさらなる事業拡大と収益性の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具



代表取締役 執行役員社長

徳間 孝之

※1 CASE: 自動車の新しいトレンドであるConnectivity(接続性)/Autonomous(自動運転)/Shared(共有)/Electric(電動化)

※2 MaaS: Mobility as a Service(移動のサービス化)

企業理念 VISION

ヨコオは、企業ビジョンとして「社会に貢献し顧客の信頼に応えるため技術を蓄え、市場の創造に全員で挑戦する進化永続企業」を掲げています。

yokowo

企業使命 MISSION

ヨコオは、「サステナブル・ソサエティの実現に向けて、事業構造革新を進める先進企業のニーズに応え、当社コア技術に基づく高品質製品の提供により社会の進化に貢献する」ことを企業使命と考えています。

ヨコオの事業領域

当社グループの事業領域は、大きく分けて、車載通信機器／回路検査用コネクタ／無線通信機器の3つのセグメントがあります。

精密金属パイプ加工からスタートした当社は、アンテナ技術・マイクロウェーブ技術・表面改質材料技術など様々な技術を導入し磨き上げ、アンテナ／コネクタ／先端デバイス製品と事業領域を次々と拡大して、革新的な製品を生み出してまいりました。

これからも、次世代のエレクトロニクスをいち早くとらえ、最先端の製品を世界に向けて提案・提供し続けることにより、さらなる成長と企業価値向上に努めてまいります。

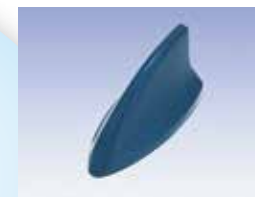
車載通信機器

売上高 **188億4千3百万円**
(前年同期比+21.8%)



車載アンテナ

車載アンテナの基本ニーズである小型化・複合化・低背化・スマート化に応えるため、次世代の車載通信を支えるアンテナシステムを開発・提案し続けることにより、安全・快適なモビリティサービスの実現に貢献します。



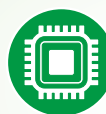
シャークフィンアンテナ



インパネ内蔵アンテナ

回路検査用コネクタ

売上高 **75億4千万円**
(前年同期比+10.4%)



半導体検査用治具

電子部品の回路検査の微細・高速対応ニーズに応えるべく、半導体製造プロセスの前工程から後工程まですべての領域に対し、微細な半導体検査用治具を開発・提供しています。



プローブカード



ICソケット

無線通信機器

売上高 **45億8千5百万円**
(前年同期比△4.6%)



電子機器用コネクタ (ファインコネクタ)

各種電子機器の小型化・省スペース化ニーズに応える微細「スプリングピンコネクタ」をグローバルに開発・提供しています。



各種スプリングピンコネクタ



医療用機器 (メディカル・デバイス)

低侵襲治療の実現に貢献するOEMガイドワイヤ、医療用カテーテル微細精密部品の設計から開発・製造まで提供しています。



ガイドワイヤ・カテーテルシャフト用コイル

yokowo

社長インタビュー

第84期及び第85期の見通し、ESG／SDGsの取組みについて、徳間社長にお話を伺いました。

—先日の第2四半期決算発表で、第84期の業績予想を増収減益と修正されましたが、その理由をお聞かせください。

今期第84期の業績予想は、売上高を650億円から660億円へ、営業利益を58億円から50億円へと修正しましたが、これは、当初想定していた下期の前提条件が各セグメントで大きく変わったことによります。

まず、車載通信機器セグメント(VCCS事業)ですが、半導体・部材不足の影響で完成車メーカーの挽回生産が若干後ろ倒しになるとみられること、海上運賃をはじめとする物流費や電子部品・樹脂材等の価格が今下期も高止まりすると予想されることなどから、売上高・利益とも当初予想から引き下げました。反対に、回路検査用コネクタセグメント(CTC事業)は、当面は受注がきわめて強い状況が続くとみられること、ロックダウン政策によるマレーシア工場の出勤制限が10月上旬に解除されてフル稼働が可能になったことなどから、売上高・利益ともに



当初予想から大幅に引き上げました。無線通信機器セグメントでは、医療現場の逼迫が緩和傾向にあることからメディカル・デバイス(MD)事業の受注回復が見込まれますが、その一方で、半導体不足などによる顧客の生産調整が長引いてファインコネクタ(FC)事業が減収見込みとなることから、売上高・利益とも当初予想から引き下げました。

—そうすると、新中期経営計画の最終年度である第85期の業績目標の達成見込みは、どうなるのでしょうか。

来期(第85期)の目標である「**連結売上高720億円・連結営業利益72億円**」は、一定の前

<第85期業績目標>

売上高 720億円(当期予想比+9.1%)
営業利益 72億円(当期予想比+44.0%)
(売上高営業利益率10%)

提条件は付きますが、変わらず達成可能だと思っています。一定の前提条件とは、生産拠点に対する極端な稼働制限が行われないこと、半導体不足や物流費・部材価格高騰が鎮静化することですが、それが実現し定着すれば、今期不振のVCCS事業も、前期の第2・第3四半期に回復してみせた収益力を発揮できると考えています。FC事業も同様に、本来の実力を出せるでしょう。CTC事業も、生産拠点がフル稼働可能であれば、年間を通じて高い実績を上げられますし、現在拡大中のターンキー・ビジネス^(※1)やYPX^(※2)を中心とする、前工程検査用プローブカード事業も順調に伸ばしていけると考えています。さらに、MD事業も、医療機器ベンチャー・エコシステム^(※3)の本格始動を契機に大きく伸ばしていけるとみています。

※1 ターンキー・ビジネス：プローブカードを構成する部品を自社で製造あるいは外部から調達して組み立て、性能評価等を行ったうえで顧客に納品するとともに、当社エンジニアが技術的相談やアフターサービスも行う、ソリューションビジネス。

※2 YPX：当社のプローブカードの商品名。スイッチ／フィルタ／パワーアンプなど高周波電子部品の製造工程(前工程)で使われるプローブカードで、ミリ波対応タイプの販売が伸長中。

—昨今、ESG (環境・社会・ガバナンス) / SDGs (持続可能な開発目標) の取組みが世界的に広がり、浸透しつつありますが、どのような取組みを行っているのでしょうか。

その質問に答える前に、『「いい会社」を創りたい』という私の想いについてお話ししたいと思います。

私の考える「いい会社」とは、

- お客様からは「ヨコオと取引していて良かった。もっと拡大しよう」と言っていただけるような会社
- お取引先様からは「ヨコオの仕事をしていて良かった。もっと貢献できるよう頑張ろう」と言っていただけるような会社、地域社会からは「ヨコオがこの町にいて良かった。是非うちの子供をヨコオに入社させたい」と言っていただけるような会社
- そして最も重要なことは、ヨコオグループの従業員に「この会社に勤めていて良かった。もっと頑張っただけにいい会社になろう」と思ってもらえるような会社

そういう会社が本当に「いい会社」だと思っています。

「いい会社」にしていくためにすべきことは、私たちヨコオグループの国内外の役員・従業員が安心・信頼に基づき、国籍や性別等に拘わらず、やりがいや充実感を持って働けるようにすること。お客様により多くの満足を感じていただけるように、技術を高め、高い品質の製品・サービスを提供し続けること。自分たちが依って立つ地域社会に貢献し、その地域の皆様に歓迎され、喜んでいただけること。ステークホルダーの皆様を含む世界中の人々の生命基盤である環境について、気候変動等の解決に、グローバル社会の一員として貢献していくこと。そういった考えから、「環境」、「地域社会」、「多様性と包摂性」の3つを、統合レポートにおいて重要課題(マテリアリティ)として設定しています。

本題の質問への回答ですが、直近においてこれらの課題について新たな取組みを始めています。例えば、「環境」に関しては、2021年10月の取締役会においてTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)への賛同を決定し、表明しています。また、「多様性と包摂性」については、

TISP(富岡インターナショナル・スペシャリスト・パーク)施策^(※4)に加えて、女性／外国籍／ベテラン／新入社員など、従業員の様々な属性ごとに「ラウンドテーブル(座談会)」開催を開始しました。その自由な討議・意見交換から出た要望・意見等を、人事制度や福利厚生施策に反映していきます。

当社グループは、一営利企業として、事業を営み利益を上げる使命を負っていますが、今や事業の成長性や収益性から生み出される利益の「量」だけでなく、公平・公正・適切な事業運営とその成果が社会貢献にもつながるといふ、利益の「質」も強く求められていると認識しています。新中期経営計画及びSDGsの取組みなど長期的施策に取り組んでいく中で、利益の量・質ともに高めつつ、利益還元の拡充と会社の品位・品格向上により、株主・投資家の皆様にとっても、より「いい会社」にしていきたいと考えています。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご理解・ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

※3 医療機器ベンチャー・エコシステム：起業して間もない医療機器ベンチャーに、産・官・学が人材・資金・技術等の面で支援し、育成していく仕組み。当社は、医療機器ベンチャーに一部出資するほか、その革新的医療機器のアイデアを具体化する製造パートナーとして参画。

※4 TISPプロジェクト：当社のマザー工場である富岡工場において、外国籍の高度技術人材を積極採用・配置する取組み。

TOPICS トピックス

群馬大学との包括共同研究活動について

当社と国立大学法人群馬大学(所在：群馬県前橋市)は、複数テーマにわたり、双方で持つ技術や設備、人材交流まで含めた共同研究を行う、包括共同研究契約を2020年10月に締結しています。この共同研究では、多くの市場ニーズや技術課題に対して高いレベルで対応していただくだけでなく、全く新しいイノベーションを創出し、社会に貢献する製品の開発を推進しています。

また、双方のノウハウを生かしシナジー効果を生み出すテーマの検討を続けるとともに、ヨコオの富岡工場が長年存在し、群馬大学の拠点でもある地元群馬県に対し、共同研究を通じて、地域貢献もしていきたいと考えています。

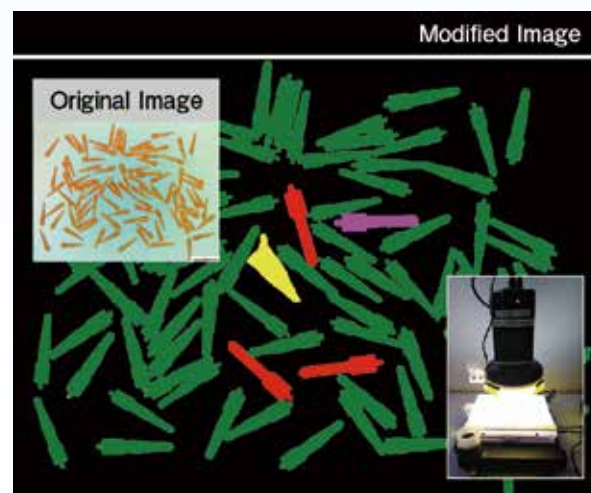
今回は、現在共同研究がスタートしている4つの個別テーマについて、以下のとおりご紹介いたします。

- AIを活用した自動検査技術
- AIを活用したアンテナ整合回路自動設計
- コンタクトプローブのはんだ接触時のダメージのモデル化
- 異種材料の接着／接合

●AIを活用した自動検査技術

当社では、コンタクトプローブの外観検査工程に画像技術とAI技術を活用することで、検査の容易化と自動化を目指しています。ただ、微細な製品をAIが検査するためには、製品のOK・NGの基準を明確に定める必要があることに加え、何百枚もの画像を取り込む必要があり、実際にAIが画像を判定するのにはかなりの時間を要します。

群馬大学とは、この撮影した画像を短時間で効率的に取り込む研究を共同で行っており、最終的には検査工程の省人化につなげ、他事業への横展開もしていきたいと考えています。



▲AI/画像認識を用いた微細製品異品検出

●AIを活用したアンテナ整合回路自動設計

当社は、自動車用アンテナの回路設計を自社内で行っていますが、従来の回路設計は設計者の経験に頼ることが多く、設計者が要件から勘で初期設計を定め、地道にシミュレータで値を探っていくというものでした。そのため、ベテランの設計者と比べて新入社員など社歴の浅い方などが設計を的確に行うことが難しい場面がありました。

このような課題に対し、AIを活用して回路構成(回路の形、素子値)を自動最適化する研究を群馬大学と共同で行っています。

●コンタクトプローブのはんだ接触時のダメージのモデル化

当社は、半導体の電気検査に用いるコンタクトプローブを製造しています。半導体のはんだ部分にコネクタを接触させ、電気を流して検査を行うのですが、検査をするうちにコンタクト箇所にはんだが付着し、合金を作ってしまうことがわかっています。



▲コンタクトプローブがはんだに接触して電気検査しているイメージ

この合金化を防ぐために、なぜ合金化するのかをモデル化し、合金化しない材料の検討やはんだへの耐性を高める工夫等について、群馬大学とともに研究を進めています。

●異種材料の接着／接合

当社は、世界最高レベルの微細精密加工技術により、金属の微細加工の限界に挑戦をし続けてきました。しかし、さらにこの先の微細化を考えると、加工だけではなく金属の材料や組成にまで着目していくことが必要になってきています。

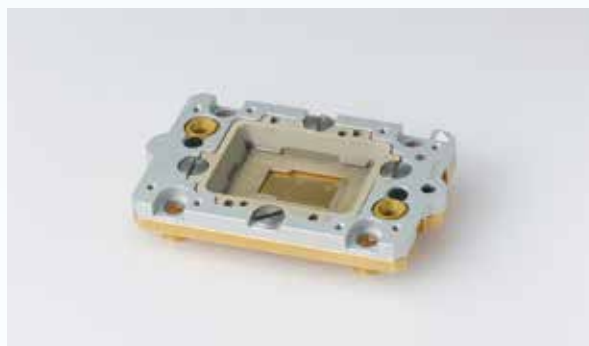
回路検査用コネクタセグメントの製品であるコンタクトプローブの接合は、部品同士をカシメたり、くびれを入れて接合することが一般的なのですが、より微細なものを接合しようとする、金属の元に戻ろうとする力が強くなりすぎて、うまく接合することが難しくなってきます。

そこで、コンタクトプローブの接合を機械的な加工方法ではなく、レーザーや熱などを使った別の接合方法でできないか？という考えのもと、異種材料の接着／接合という研究テーマを群馬大学と進めています。

今後も、双方のノウハウを生かしシナジー効果を生み出すテーマの検討を続け、可能性のあるものに関しては、共同研究を行っていきます。

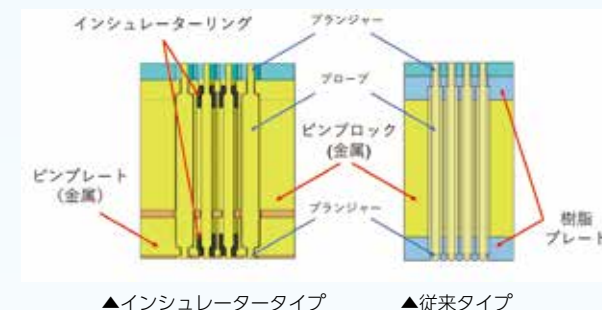
【回路検査用コネクタセグメント】 ヨコオとして初めて、「5G 通信対応 0.4mm ピッチ、フルシールド高周波ソ ケット」を新開発

当社は、半導体の後工程検査で使用する検査用ソケットとして、ヨコオとして初めて「5G通信（28GHz帯）対応0.4mmピッチ、フルシールド高周波ソケット」を開発しました。



▲5G通信対応0.4mmピッチ、フルシールド高周波ソケット

当製品は、従来、コンタクトプローブを配置させる最小ピッチ（間隔）が0.65mmだったところ、50%のサイズに小型化した新開発のインシュレーターリングを使用することで、0.4mmピッチでの配置を実現しています。さらに、ソケット上側のプランジャ部分もメタルブロックで覆うことが可能になり、樹脂プレートを使う従来



の方法に比べ同軸構造を多く確保でき、**高周波対応としては非常に有効な構造にすることが可能**となりました。

今回、新開発のインシュレーターリングを開発・製造するための新型樹脂成形機を導入したことに加え、極小インシュレーターリングを安定した品質で製造し続けるため、長年培ったヨコオ独自の微細加工技術を駆使して幾重にもわたるテストを繰り返した結果、製品化することに成功しました。

また、極小インシュレーターリングの開発だけではなく、ピンプレート部の金属化や、金属ボディでも精度が高くアッセンブリーしやすい構造を採用するなど、当社独自のノウハウを駆使しています。

これからも、28GHz帯の**5G通信需要**は伸びてくると予想されますが、長年培ってきたコア技術を生かし、今後も貢献してまいります。

アンケート実施報告

2021年3月末時点の株主様を対象に、ハガキによるアンケート調査を実施しましたところ、967名の株主様からご回答をいただきました。
その集計結果と、頂戴したご意見の中から一部をご紹介します。

【Q1.当社株式をお知りになるきっかけとなったものは何ですか】に対しては、「四季報・会社情報」が25.1%でもっとも多く、「新聞・雑誌」の19.9%がこれに続きました。

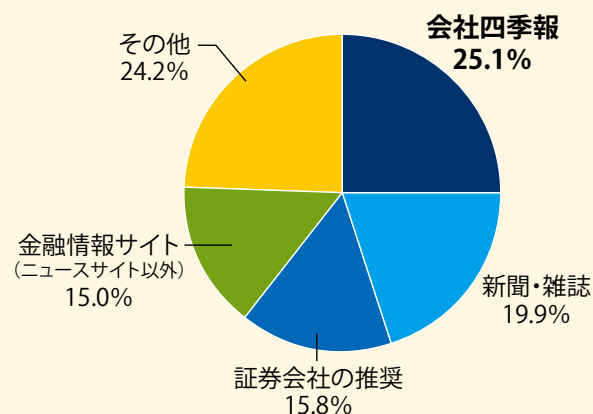
【Q2.当社株式をご購入された理由をお聞かせください】に対しては、「将来性・成長性(値上がり益期待)」が41.3%でもっとも多く、「当社の技術力」が15.6%でこれに次ぎ、さらに「事業内容」「安定性(含む配当期待)」等が続きました。

【Q3.保有方針】に対しては、「長期保有(5年以上)」が58.7%でもっとも多く、「中期保有(2～5年未満)」が31.7%でこれに続きました。

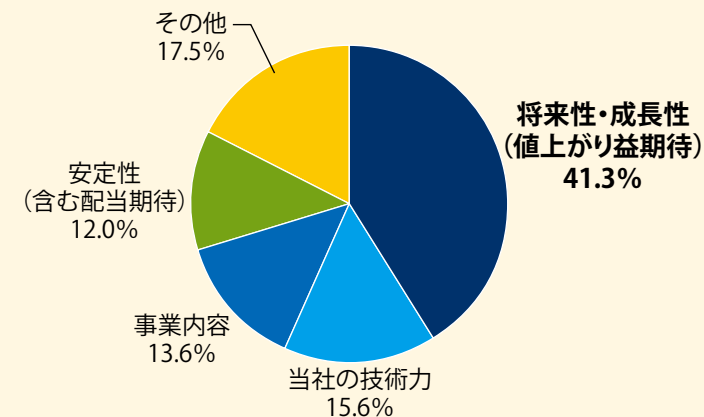
【Q4.当社株式を長期保有するためにもっとも重要な要素は何ですか】に対しては、「成長戦略」が33.5%でもっとも多く、「安定的な業績」が22.8%でこれに続きました。

以上の他にも、当社への要望・期待・叱咤・激励のお言葉など、数多くのお声を頂戴いたしました。
アンケートにご協力くださいました皆様に、厚く御礼申しあげます。
当社に対する理解を深めていただけるよう、今後も皆様のご意見を株主通信の誌面づくりに生かしてまいります。

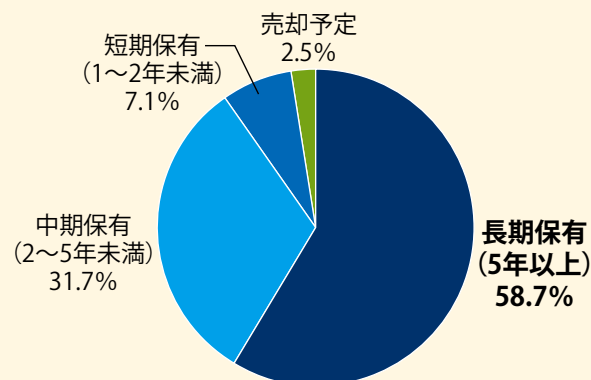
Q1.知ったきっかけ



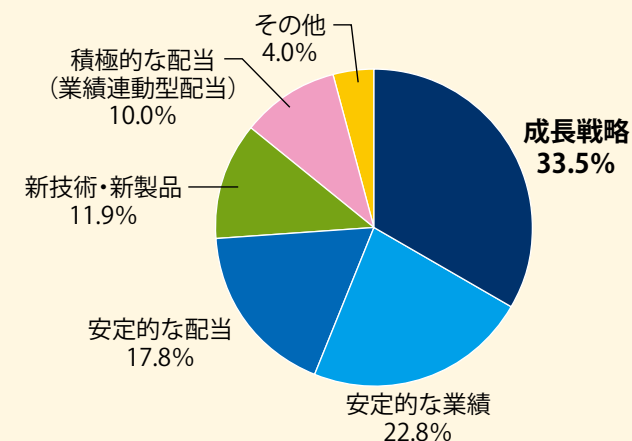
Q2.購入理由



Q3.保有方針



Q4.長期保有に重要な要素



株主の皆様からのご意見を紹介します(一部抜粋)

配当増額好印象でした。

岐阜県 40代

ネーミングライツに応募された事で知名度UPの貢献になると思いました。

広島県 30代

昔からなぜか好きな会社です。

東京都 70代

より地道に発展を祈ります。

東京都 60代

技術革新を続けて欲しい。新しいものに対するチャレンジ精神！

埼玉県 70代

企業の存在意義は社会の発展に貢献すること、R&Dを有効的に成長に結びつけて下さい。

兵庫県 80代以上

コロナで大変な時期ですが見事に乗り切って更なる成長を願っています。

福岡県 70代

SDGsに関連する取り組みを行った方がより投資家へのアピールになると思われます。

大阪府 30代

社員を大切に、創意工夫に積極的な企業は大きな成長をします。増々の成長を期待します。

神奈川県 60代

業界内で常にNO1を目指して欲しい。又は、新たなNO1を見い出して欲しい。

埼玉県 70代

日本の未来を支える企業の一つです。がんばって下さい。

東京都 60代

5G、6Gと情報通信の発展に期待しています。がんばって下さい。

沖縄県 40代

半導体分野はまだまだのびと思っています。半導体事業領域を拡大して下さい。

愛知県 60代

先端技術の社会貢献に期待します。

福岡県 60代

株主優待制度を新設し、長期保有者の拡大に努めてほしい。

埼玉県 60代

長期に保有しています、御社の今後にも益々期待しています。(特に医療分野)

群馬県 50代

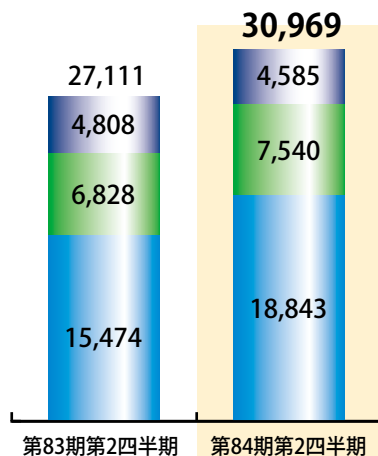
業績・株価推移

第84期第2四半期連結累計期間の業績

売上高

(単位: 百万円)

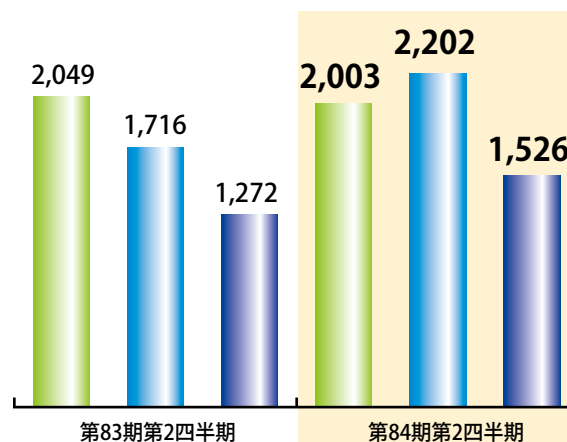
■ 車載通信機器 ■ 回路検査用コネクタ ■ 無線通信機器



営業利益／経常利益／ 親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位: 百万円)

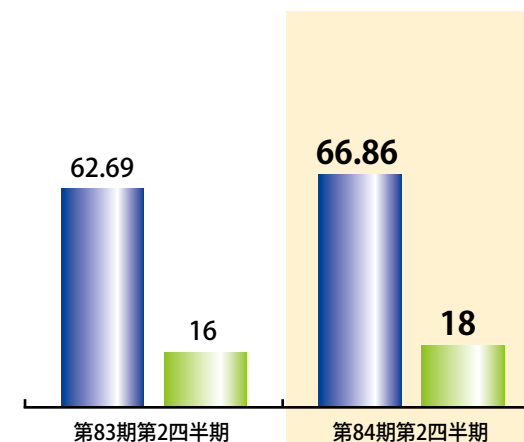
■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する四半期純利益



1株当たり四半期純利益／中間配当金

(単位: 円)

■ 1株当たり四半期純利益 ■ 中間配当金

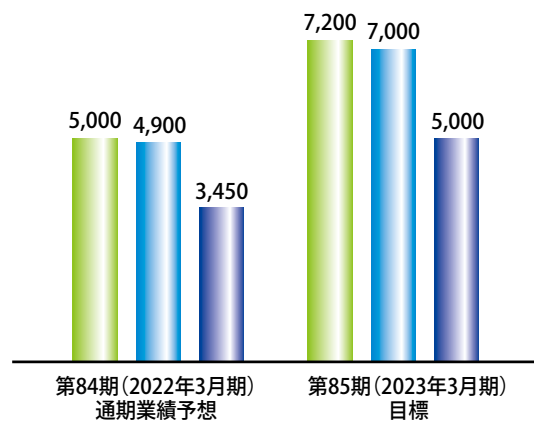
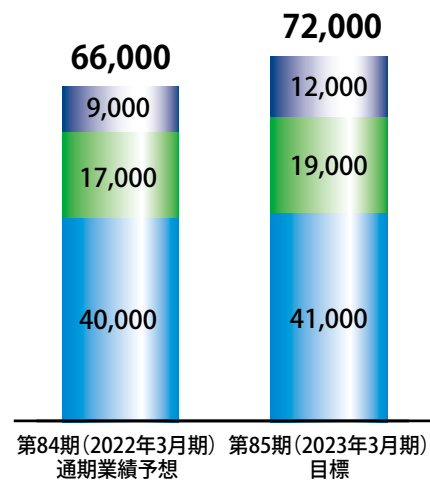


第84期通期業績予想／第85期中期経営目標

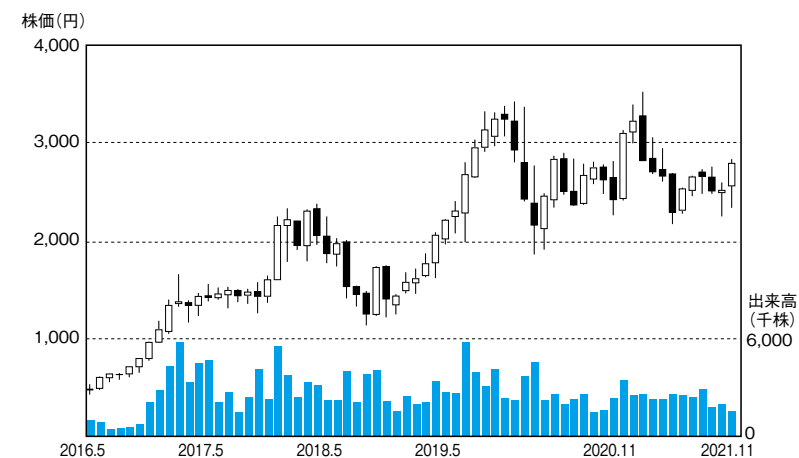
(単位: 百万円)

■ 車載通信機器 ■ 回路検査用コネクタ ■ 無線通信機器

■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益



株価の推移



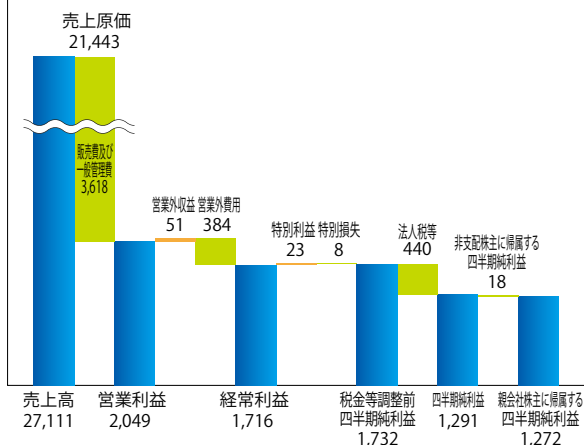
連結財務諸表(要旨)

損益計算書より

(単位:百万円)

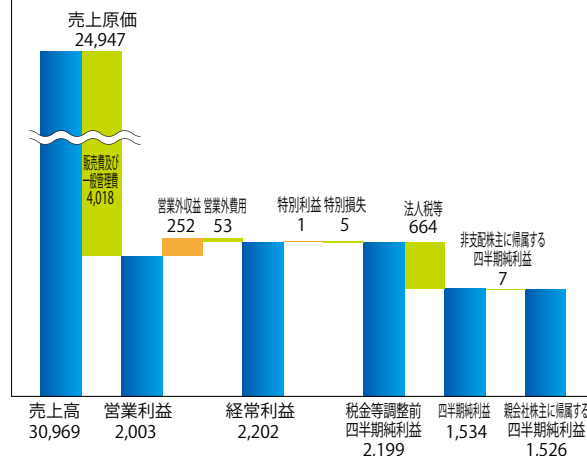
前第2四半期連結累計期間

(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)



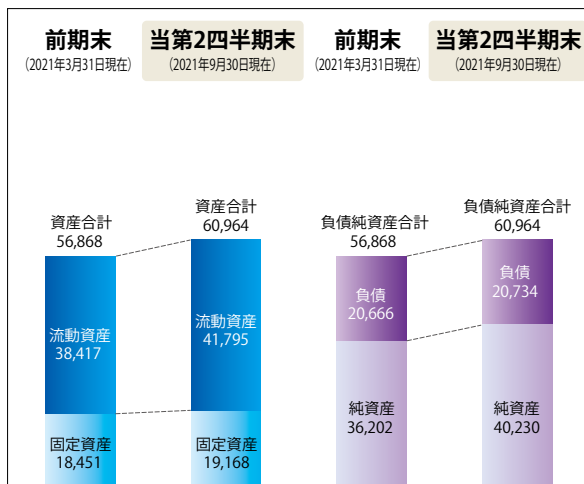
当第2四半期連結累計期間

(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)



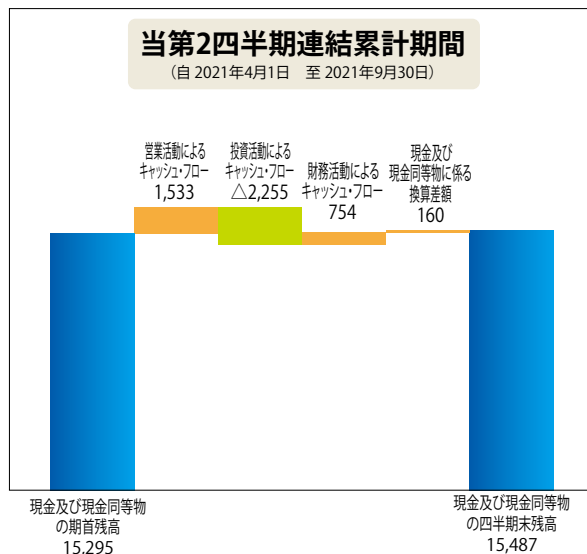
貸借対照表より

(単位:百万円)



キャッシュ・フロー計算書より

(単位:百万円)



会社の概要 (2021年9月30日現在)

商 号 株式会社ヨコオ
 本社所在地 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-25
 JR神田万世橋ビル14F
 (2021年10月に上記住所に本社を移転しました)
 電話 : 03-3916-3111

創 立 1922(大正11)年9月1日
 設 立 1951(昭和26)年6月14日
 資 本 金 78億1,912万円
 従 業 員 数 単体 936名(前期末比 30名増)
 連結 8,715名(前期末比 287名減)

株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株
 発行済株式の総数 23,849,878株
 (自己株式 538,509株を含む)
 株主数 6,589名

■大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社日本カストディ銀行	4,190	17.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,736	11.7
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	1,000	4.2
株式会社群馬銀行	990	4.2
ヨコオ取引先持株会	769	3.3
三菱UFJ信託銀行株式会社	595	2.5
第一生命保険株式会社	451	1.9
株式会社三菱UFJ銀行	446	1.9
株式会社りそな銀行	445	1.9
ヨコオ自社株投資会	442	1.9

※当社は自己株式を538千株保有していますが、上記の大株主からは除外しています。
 ※持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
 ※持株比率は自己株式を除いて算出し、小数点以下第2位以下を切り捨てて表示しています。

株式に関する手続きについて

1. 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel:0120-232-711 (通話料無料) 【書類郵送先】〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 宛
・上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

2. 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
・特別口座から一般口座への振替請求 ・単元未満株式の買取・買増請求 ・住所・氏名のご変更 ・特別口座の残高照会 ・配当金の受領方法の指定※	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel:0120-232-711 (通話料無料) 【書類郵送先】〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 宛
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	【手続き用紙のご請求方法】 インターネットからダウンロードください。 https://www.tr.mufg.jp/daikou/

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお願いいただけません。

■IRニュースメール配信サービスのご案内

当社では、株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆様を対象にIRニュースメール配信サービスを提供しています。

決算発表やニュースリリースなどの当社IR情報について、ご登録いただいた皆様に電子メールでお知らせするサービスとなっております。

当社HPから簡単に登録できますので、お気軽にご登録ください！

◆IRニュースメール配信サービス



<https://www.yokowo.co.jp/ir/magazine/>

株式会社 **ヨコオ**

株主名簿管理人
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話：0120-232-711（通話料無料）

UD FONT 見やすく読みまちがえにくい
 ユニバーサルデザインフォント
 を採用しています。

